

[令和2年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

鳥取大学大学院 医学系研究科 医科学専攻（博士前期課程）

鳥取大学大学院 医学系研究科 医科学専攻（博士後期課程）

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人鳥取大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部総務企画課

職名・氏名 副課長 オオツカ タクヤ
大塚 卓弥

電話番号 0857-31-6745

（夜間） 0857-31-6745

F A X 0857-31-5035

e-mail ma-seisaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医学系研究科

＜医科学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

＜医科学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	31
2. 授業科目の概要	35
3. 施設・設備の整備状況、経費	38
4. 既設大学等の状況	39
5. 教員組織の状況	42
6. 附帯事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人鳥取大学

(2) 大 学 名

鳥取大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒683-8503

鳥取県米子市西町86番地

(〒680-8550

鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(ナカジマ ヒロミツ) 中島 廣光 (平成31年4月)		
研究科長	(クロザワ ヨウイチ) 黒沢 洋一 (令和2年4月)		
専 攻 長	(ハナキ ケイイチ) 花木 啓一 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学系研究科 医科学専攻 博士前期課程 (修士(医科学)) (修士(保健学))	医学関係 保健衛生学関係(看護学関係)	2年	35人	0年次人	70人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	35人 (-) [-]	人	人	人	人	人	1.02倍	倍	
志願者数	38 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
受験者数	37 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
合格者数	37 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	36 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B / A	1.02								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	36 (-) [] [-] ()		[] [] () ()		[] [] () ()		
2 年次			[] [] () ()		[] [] () ()		
計	36 [-] (-)		[] ()		[] ()		

- ・ 令和2年5月1日 公表
- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	36 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜医学系研究科 医科学専攻（博士前期課程）＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基盤的 教育科目	基礎医科学概論	1前	1			4					1
	実用的解剖学特論	1前	1								1
	実用的生理学特論	1前	1				1				1
	薬理学・薬物療法学特論	1前	1								2
	医療倫理学特論	1前	1				1		1		1
	医療安全学特論	1前	1			2					4
	知財戦略特論Ⅰ	1前	1			1					3
	小計(7科目)	－	7	0	0	7	2	0	1	0	12
分野横断的 科目	知財戦略演習Ⅰ	1後		1		1					1
	腫瘍医療学特論	1後		2		3	1				
	認知症予防学特論	1前		2		2		1	1		
	地域医療システム学特論	1後		1		2	1		1		
	病態生理学特論	1前		2		5					
	臨床薬理学特論	1前		2		2					
	医療統計解析学特論	1後		2		1	1				
	統計ソフトウェア演習	1後		2		2					
	ストレス医療学特論	1前		2		1					
	教育の原理と方法	1後		2		1		1	1		
	小計(10科目)	－	0	18	0	13	3	2	3	0	1
専門 家 養成 科目 （医科学）	医療機器開発特論	1後		2		1					3
	分子神経科学特論	1前		2		1			3		
	システム神経科学特論	1前		2		1			3		
	細胞分化・老化機構学特論	1前		2		1	1				
	細胞工学特論	1前		2		1	1				
	遺伝子医科学特論	1前		2		1	1				
	再生医科学特論	1前		2		1			2		
	遺伝子再生医科学演習	1通		2		1	1				
	再生医工学特論	1後		2		1	1				
	再生医工学演習	1通		2		1	1				
	遺伝子治療学特論	1前		2			1				
	遺伝子治療学演習	1通		2			1				
	細胞分子機構学特論	1前		2		1	1				
	細胞分子機構学演習	1通		2		1	1				
	免疫認識学特論	1前		2			1				
	免疫認識学演習	1通		2			1				
	発生物学特論	1後		2		1					
	発生物学演習	1通		2		1					
	実験腫瘍病理学特論	1後		2		1	1				
	実験腫瘍病理学演習	1通		2		1	1				
	神経病態・遺伝子疾患学特論	1前		2		1		1			
	神経病態・遺伝子疾患学演習	1後		2		1		1			
	病態細胞学特論	1前		2		1	1				
	病態細胞学演習	1後		2		1	1				
	病態制御学特論	1前		2		1		2			
	病態制御学演習	1後		2		1		1			
	生体機能・情報解析学特論	1前		2		1	1	1			
	生体機能・情報解析学演習	1後		2		1		1			
	環境科学特論	1前		2		1	1				
	環境科学演習	1後		2		1	1				
	認知症予防学演習	1後		2		2		1	1		
	基礎人類遺伝学特論Ⅰ	1前		2		3	1				1
	基礎人類遺伝学特論Ⅱ	1後		2		1	1				1
	基礎人類遺伝学演習Ⅰ	1前		1		2					1
	基礎人類遺伝学演習Ⅱ	1後		1		3	1	1			
	臨床遺伝学特論	1前		1		1					
	臨床遺伝学演習	1後		1		1					
	遺伝サービス情報学演習	1前		1		3	1	1			2
	遺伝医療と社会特論	1後		1		1	1	1	1		
	遺伝医療と倫理演習	1後		1		1	2				1
	遺伝カウンセリング特論	1前		2			1				7
	遺伝カウンセリング演習Ⅰ	1後		1		1	1				
	遺伝カウンセリング演習Ⅱ	2前		1		1	1				1
	遺伝カウンセリング実習Ⅰ	1後		2		2	1	1	1		1
	遺伝カウンセリング実習Ⅱ	2通		4		2	1	1	1		1
	小計(45科目)	－	0	83	0	18	11	6	7	0	12

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基盤的 教育科目	基礎医科学概論	1前	1			4					1
	実用的解剖学特論	1前	1								1
	実用的生理学特論	1前	1				1				1
	薬理学・薬物療法学 ¹	1前	1								2
	医療倫理学特論	1前	1				1		1		1
	医療安全学特論	1前	1			2					4
	知財戦略特論Ⅰ	1前	1			1					3
	小計(7科目)	－	7	0	0	7	2	0	1	0	12
分野横断的 科目	知財戦略演習Ⅰ	1後		1		1					1
	腫瘍医療学特論	1後		2		3	1				
	認知症予防学特論	1前		2		1	1	1	1		
	地域医療システム学特論	1後		1		2	1		1		
	病態生理学特論	1前		2		5					
	臨床薬理学特論	1前		2		2					
	医療統計解析学特論	1後		2		1	1				
	統計ソフトウェア演習	1後		2		2					
	ストレス医療学特論	1前		2		1					
	教育の原理と方法	1後		2		1		1	1		
	小計(10科目)	－	0	18	0	12	4	2	3	0	1
専門 家 養成 科目 （医科学）	医療機器開発特論	1後		2		1					3
	分子神経科学特論	1前		2		1			3		
	システム神経科学特論	1前		2		1			3		
	細胞分化・老化機構学特論	1前		2		1	1				
	細胞工学特論	1前		2		1	1				
	遺伝子医科学特論	1前		2		1	1				
	再生医科学特論	1前		2		1			1		
	遺伝子再生医科学演習	1通		2		1	1				
	再生医工学特論	1後		2		1	1				
	再生医工学演習	1通		2		1	1				
	遺伝子治療学特論	1前		2			1				
	遺伝子治療学演習	1通		2			1				
	細胞分子機構学特論	1前		2		1	1				
	細胞分子機構学演習	1通		2		1	1				
	免疫認識学特論	1前		2		1	1				
	免疫認識学演習	1通		2		1	1				
	発生物学特論	1後		2		1					
	発生物学演習	1通		2		1					
	実験腫瘍病理学特論	1後		2		1	1				
	実験腫瘍病理学演習	1通		2		1	1				
	神経病態・遺伝子疾患学特論	1前		2		1		1			
	神経病態・遺伝子疾患学演習	1後		2		1		1			
	病態細胞学特論	1前		2		1	1				
	病態細胞学演習	1後		2		1	1				
	病態制御学特論	1前		2		1		2			
	病態制御学演習	1後		2		1		1			
	生体機能・情報解析学特論	1前		2		1	1	1			
	生体機能・情報解析学演習	1後		2		1		1			
	環境科学特論	1前		2		1	1				
	環境科学演習	1後		2		1	1				
	認知症予防学演習	1後		2		1	1	1	1		
	基礎人類遺伝学特論Ⅰ	1前		2		3	1				1
	基礎人類遺伝学特論Ⅱ	1後		2		1	1				1
	基礎人類遺伝学演習Ⅰ	1前		1		2					1
	基礎人類遺伝学演習Ⅱ	1後		1		3	1	1			
	臨床遺伝学特論	1前		1		1					
	臨床遺伝学演習	1後		1		1					
	遺伝サービス情報学演習	1前		1		3	1	1			2
	遺伝医療と社会特論	1後		1		1	1	1	1		
	遺伝医療と倫理演習	1後		1		1	2				1
	遺伝カウンセリング特論	1前		2			1				7
	遺伝カウンセリング演習Ⅰ	1後		1		1	1				
	遺伝カウンセリング演習Ⅱ	2前		1		1	1				1
	遺伝カウンセリング実習Ⅰ	1後		2		2	1	1	1		1
	遺伝カウンセリング実習Ⅱ	2通		4		2	1	1	1		1
	小計(45科目)	－	0	83	0	18	12	6	6	0	12

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 家 養 成 科 目 （ 保 健 学 ）	看護管理学特論	1後		2		1					1
	看護理論	1前		2		2	1				
	生活機能看護学特論	1前		2		1		1			4
	生活機能看護学演習	1後		2		1		1			
	成人看護学特論	1前		2		1	1				
	成人看護学演習	1後		2		1	1				
	高齢者看護学特論	1前		2		1					
	高齢者看護学演習	1後		2		1					
	地域母子看護学特論	1前		2		3		1			
	地域母子看護学演習	1後		2		3		1			
	成育看護学特論	1前		2		3		1			
	成育看護学演習	1後		2		3		1			
	統合支援看護学特論	1後		2		2		1			
	統合支援看護学演習	1後		2		1		1			
	精神保健学特論	1前		2		1					
	精神保健学演習	1後		2		1					
	看護コンサルテーション特論	1前		2		1					
	看護倫理学特論	1前		2		1					
	看護学研究方法特論	1前		2		1					
	看護教育学特論	1後		2		1					
	フィジカルアセスメント特論	1前		2		5	1	1			
	がん看護に関する病態生理学	1前		2		3	1				
	がん看護に関する理論	1前		2		2	1				
	がん治療支援に関わる看護援助論	1前		2		2	1	1			
特 別 研 究	緩和ケア特論Ⅰ	1前		2		2		1			
	緩和ケア特論Ⅱ	1後		2		1		2			
	緩和ケア演習Ⅰ	1後		2		2					
	緩和ケア演習Ⅱ	1後		2		1					
	がん看護学実習Ⅰ	1後		2			1				
	がん看護学実習Ⅱ	1後		2		1					
	がん看護学実習Ⅲ	2前		6		1					
	小計(31科目)	-	0	66	0	14	3	5	0	0	5
	医科学特別研究	1～2		10		15	10	4	8		
	保健学特別研究	1～2		10		10	3				
	小計(2科目)		0	20	0	25	12	4	8	0	0
	合計(95科目)	-	7	187	0	27	14	11	14	0	27
卒業要件及び履修方法											
医学系研究科医科学専攻(博士前期課程)に2年以上在学し、基盤的教育科目、分野横断的科目、専門 家養成科目及び特別研究の各条件を満たして修得した単位の合計が30単位以上で、かつ学位論文(修 士)の審査及び最終試験に合格すること。											
また、認定遺伝カウンセラー®の受験資格の取得を目指す学生及びがん看護専門看護師の専門看護師 教育課程の修了を目指す学生については、以下の指定された授業科目の必要単位数を修得し、かつ学位 論文(修士)の審査及び最終試験に合格すること。											
基盤的教育科目、分野横断的科目、専門家養成科目及び特別研究の各修得条件は、以下のとおりであ る。											
○基盤的教育科目から7単位修得すること。											
○分野横断的科目から1単位以上修得すること。											
ただし、がん看護専門看護師の専門看護師教育課程の修了を目指す学生については、「病態生理学 特論」、「臨床薬理学特論」を含め4単位以上を修得すること。											
○専門家養成科目から以下の条件を満たすこと。 修士(医科学)の学位を取得するためには、専門家養成科目(医科 学)から8単位以上を修得する こと。修士(保健学)の学位を取得するためには、専門家養成科目(保健学)から8単位以上を修得する こと。											
ただし、認定遺伝カウンセラー®の受験資格の取得を目指す学生については、専門家養成科目(医 科学)のうち「基礎人類遺伝学特論Ⅰ」、「基礎人類遺伝学特論Ⅱ」、「基礎人類遺伝学演習Ⅰ」、「基 礎人類遺伝学演習Ⅱ」、「臨床遺伝学特論」、「臨床遺伝学演習」、「遺伝サービス情報学演習」、「遺 伝医療と社会特論」、「遺伝医療と倫理演習」、「遺伝カウンセリング特論」、「遺伝カウンセリング演習 Ⅰ」、「遺伝カウンセリング演習Ⅱ」、「遺伝カウンセリング実習Ⅰ」、「遺伝カウンセリング実習Ⅱ」の21 単位を修得すること。											
がん看護専門看護師の専門看護師教育課程の修了を目指す学生については、専門家養成科目 (保健学)のうち「看護コンサルテーション特論」、「看護倫理学特論」、「看護学研究方法特論」、「看 護教育学特論」、「看護管理学特論」、「看護理論」から8単位以上、「フィジカルアセスメント特論」、 「がん看護に関する病態生理学」、「がん看護に関する理論」、「がん治療支援に関わる看護援助論」、 「緩和ケア特論Ⅰ」、「緩和ケア特論Ⅱ」、「緩和ケア演習Ⅰ」、「緩和ケア演習Ⅱ」、「がん看護学実 習Ⅰ」、「がん看護学実習Ⅱ」、「がん看護学実習Ⅲ」の26単位、合計34単位以上を修得すること。											
○特別研究から、修士(医科学)の学位を取得するためには「医科学特別研究」10単位を、修士(保 健学)の学位を取得するためには「保健学特別研究」10単位を修得すること。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 家 養 成 科 目 （ 保 健 学 ）	看護管理学特論	1後		2		1					1
	看護理論	1前		2		2	1				
	生活機能看護学特論	1前		2		1		1			4
	生活機能看護学演習	1後		2		1		1			
	成人看護学特論	1前		2		1	1				
	成人看護学演習	1後		2		1	1				
	高齢者看護学特論	1前		2			1				
	高齢者看護学演習	1後		2			1				
	地域母子看護学特論	1前		2		3					
	地域母子看護学演習	1後		2		3					
	成育看護学特論	1前		2		3					
	成育看護学演習	1後		2		3					
	統合支援看護学特論	1後		2		2		1			
	統合支援看護学演習	1後		2		1		1			
	精神保健学特論	1前		2		1					
	精神保健学演習	1後		2		1					
	看護コンサルテーション特論	1前		2		1					
	看護倫理学特論	1前		2			3	1	1		
	看護学研究方法特論	1前		2		1					
	看護教育学特論	1後		2		1					
	フィジカルアセスメント特論	1前		2		5	2				
	がん看護に関する病態生理学	1前		2		3	1				
	がん看護に関する理論	1前		2		2	1				
	がん治療支援に関わる看護援助論	1前		2		2	1	1			
特 別 研 究	緩和ケア特論Ⅰ	1前		2		2		1			
	緩和ケア特論Ⅱ	1後		2		1	1	1			
	緩和ケア演習Ⅰ	1後		2		2					
	緩和ケア演習Ⅱ	1後		2		1					
	がん看護学実習Ⅰ	1後		2		1					
	がん看護学実習Ⅱ	1後		2		1					
	がん看護学実習Ⅲ	2前		6		1					
	小計(31科目)	-	0	66	0	13	4	3	1	0	5
	医科学特別研究	1～2		10		16	10	4	9		1
	保健学特別研究	1～2		10		9	3				
	小計(2科目)		0	20	0	25	12	4	9	0	1
	合計(95科目)	-	7	187	0	27	15	9	15	0	28
卒業要件及び履修方法											
医学系研究科医科学専攻(博士前期課程)に2年以上在学し、基盤的教育科目、分野横断的科目、専門 家養成科目及び特別研究の各条件を満たして修得した単位の合計が30単位以上で、かつ学位論文(修 士)の審査及び最終試験に合格すること。											
また、認定遺伝カウンセラー®の受験資格の取得を目指す学生及びがん看護専門看護師の専門看護師 教育課程の修了を目指す学生については、以下の指定された授業科目の必要単位数を修得し、かつ学位 論文(修士)の審査及び最終試験に合格すること。											
基盤的教育科目、分野横断的科目、専門家養成科目及び特別研究の各修得条件は、以下のとおりであ る。											
○基盤的教育科目から7単位修得すること。											
○分野横断的科目から1単位以上修得すること。											
ただし、がん看護専門看護師の専門看護師教育課程の修了を目指す学生については、「病態生理学 特論」、「臨床薬理学特論」を含め4単位以上を修得すること。											
○専門家養成科目から以下の条件を満たすこと。 修士(医科学)の学位を取得するためには、専門家養成科目(医科 学)から8単位以上を修得する こと。修士(保健学)の学位を取得するためには、専門家養成科目(保健学)から8単位以上を修得する こと。											
ただし、認定遺伝カウンセラー®の受験資格の取得を目指す学生については、専門家養成科目(医 科学)のうち「基礎人類遺伝学特論Ⅰ」、「基礎人類遺伝学特論Ⅱ」、「基礎人類遺伝学演習Ⅰ」、「基 礎人類遺伝学演習Ⅱ」、「臨床遺伝学特論」、「臨床遺伝学演習」、「遺伝サービス情報学演習」、「遺 伝医療と社会特論」、「遺伝医療と倫理演習」、「遺伝カウンセリング特論」、「遺伝カウンセリング演習 Ⅰ」、「遺伝カウンセリング演習Ⅱ」、「遺伝カウンセリング実習Ⅰ」、「遺伝カウンセリング実習Ⅱ」の21 単位を修得すること。											
がん看護専門看護師の専門看護師教育課程の修了を目指す学生については、専門家養成科目 (保健学)のうち「看護コンサルテーション特論」、「看護倫理学特論」、「看護学研究方法特論」、「看 護教育学特論」、「看護管理学特論」、「看護理論」から8単位以上、「フィジカルアセスメント特論」、 「がん看護に関する病態生理学」、「がん看護に関する理論」、「がん治療支援に関わる看護援助論」、 「緩和ケア特論Ⅰ」、「緩和ケア特論Ⅱ」、「緩和ケア演習Ⅰ」、「緩和ケア演習Ⅱ」、「がん看護学実 習Ⅰ」、「がん看護学実習Ⅱ」、「がん看護学実習Ⅲ」の26単位、合計34単位以上を修得すること。											
○特別研究から、修士(医科学)の学位を取得するためには「医科学特別研究」10単位を、修士(保 健学)の学位を取得するためには「保健学特別研究」10単位を修得すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講**となった科目についても科目名の後に「(未開講)」として**記入**してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】			
・業務分担再考により、「がん看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・業務分担再考及び教員採用により、「医科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授15、准教授10、講師4、助教8」から「教授16、准教授10、講師4、助教9、兼任・兼任1」に変更。 ・業務分担再考及び教員採用により、「免疫認識学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。 ・業務分担再考及び教員採用により、「免疫認識学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。 ・教員辞職により、「保健学特別研究」の専任教員等の配置を「教授10、准教授3」から「教授9、准教授3」に変更。 ・教員辞職により、「高齢者看護学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・教員辞職により、「高齢者看護学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。 ・教員辞職により、「認知症予防学特論」の専任教員等の配置を「教授2、講師1、助教1」から「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。 ・教員辞職により、「認知症予防学演習」の専任教員等の配置を「教授2、講師1、助教1」から「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。 ・教員辞職により、「看護倫理学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授3、講師1、助教1」に変更。 ・教員辞職により、「地域母子看護学特論」の専任教員等の配置を「教授3、講師1」から「教授3」に変更。 ・教員辞職により、「地域母子看護学演習」の専任教員等の配置を「教授3、講師1」から「教授3」に変更。 ・教員辞職により、「成育看護学特論」の専任教員等の配置を「教授3、講師1」から「教授3」に変更。 ・教員辞職により、「成育看護学演習」の専任教員等の配置を「教授3、講師1」から「教授3」に変更。 ・教員辞職により、「再生医科学特論」の専任教員等の配置を「教授1、助教2」から「教授1、助教1」に変更。 ・教員の昇任により、「フィジカルアセスメント特論」の専任教員等の配置を「教授5、准教授1、講師1」から「教授5、准教授2」に変更。 ・教員の昇任により、「緩和ケア特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。			

【令和3年度】			

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	88 科目	0 科目	95 科目	7 科目 []	88 科目 []	0 科目 []	95 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{95} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容						備考	
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計		大学全体 その他のうち、 附属病院 51,492㎡	
	校 舎 敷 地	250,060 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		250,060 ㎡			
	運動場用地	123,946 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		123,946 ㎡			
	小 計	374,006 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		374,006 ㎡			
	そ の 他	9,321,100 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		9,321,100 ㎡			
	合 計	9,695,106 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		9,695,106 ㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計		別途附属病院 72,428㎡	
		132,192 ㎡ (132,192 ㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)		132,192 ㎡ (132,192 ㎡)			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室		情報処理学習施設	語学学習施設		
		102室	75室	589室		3室 (補助職員 〇人)	〇室 (補助職員 〇人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		医学系研究科医科学専攻（博士前期課程）			55 室				
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能のため、大学全体の数。	
		電子ジャーナル 〔うち外国書〕							
	医学系研究科 医科学専攻	699,057 [191,625] (699,057 [191,625])	19,150 [8,892] (19,150 [8,892])	6,141 [4,761] (6,141 [4,761])	6,096 (6,096)	32,734 (32,734)	32 (32)		
	計	699,057 [191,625] (699,057 [191,625])	19,150 [8,892] (19,150 [8,892])	6,141 [4,761] (6,141 [4,761])	6,096 (6,096)	32,734 (32,734)	32 (32)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		6,014㎡		915		657,439			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,321㎡		武道場、弓道場、陸上競技場、野球場、テニスコート ラグビー兼サッカー場、水泳プール					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
		共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			—					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（2）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	鳥取大学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
<学部>	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
地域学部	4	170	-	680	-	1.05	1.07	-	平成16	-	
<u>地域学科</u>	4	170	-	680	学士 (地域学)	1.05	1.07	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山 町南4丁目101番地	
<u>地域創造コース</u>	4	60	-	240	学士 (地域学)	1.07	1.08	-	平成29	同上	
<u>人間形成コース</u>	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.06	1.10	-	平成29	同上	
<u>国際地域文化コース</u>	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.03	1.01	-	平成29	同上	
地域政策学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域教育学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域文化学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域環境学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生 募集停止
<u>医学部</u>	4・6	264	2年次 5	1,294	-	1.00	1.00	-	昭和24	-	
<u>医学科</u>	6	104	2年次 5	654	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	昭和24	鳥取県米子市西 町86番地	令和2年度から収容定 員増延長
生命科学科	4	40	-	160	学士 (生命科 学)	1.04	1.02	-	平成 2	同上	
保健学科	4	120	-	480	-	1.01	1.00	-	平成11	同上	
看護学専攻	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.01	1.01	-	平成11	同上	
検査技術科学専攻	4	40	-	160	学士 (保健学)	1.02	1.00	-	平成11	同上	
工学部	4	450	-	1,800	-	1.02	1.04	-	昭和40	-	
機械物理系学科	4	115	-	460	学士 (工学)	1.05	1.10	-	平成27	鳥取県鳥取市湖山 町南4丁目101番地	
電気情報系学科	4	125	-	500	学士 (工学)	1.02	1.00	-	平成27	同上	
化学バイオ系学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.03	1.05	-	平成27	同上	
社会システム土木系学科	4	110	-	440	学士 (工学)	1.01	1.03	-	平成27	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
物質工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
社会開発システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
応用数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成 7	同上	平成27年度から学生 募集停止
<u>農学部</u>	4・6	255	-	1,090	-	1.03	1.02	-	昭和24	-	
<u>生命環境農学科</u>	4	220	-	880	学士 (農学)	1.02	1.01	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山 町南4丁目101番地	
生物資源環境学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	-	平成11	同上	平成29年度から学生 募集停止
共同獣医学科	6	35	-	210	学士 (獣医学)	1.04	1.08	-	平成25	同上	
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	-	-	昭和24	同上	平成25年度から学生 募集停止
大学全体	4・6	1,139	2年次 5	4,864	-	1.02	1.03	-	-	-	

<大学院>											
持続性社会創生科学研究科	2	251	-	502	-	1.02	0.97	-	平成29	-	
博士前期課程											
地域学専攻	2	20	-	40	-	0.50	0.35	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
地域創生コース	2	10	-	20	修士 (地域学)	0.25	0.30	-	平成29	同上	
人間形成コース	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.75	0.40	-	平成29	同上	
工学専攻	2	165	-	330	修士 (工学又は学術)	1.16	1.12	-	平成29	同上	
農学専攻	2	46	-	92	修士 (農学)	0.86	0.73	-	平成29	同上	
国際乾燥地科学専攻	2	20	-	40	修士 (農学又は学術)	0.87	0.95	-	平成29	同上	
地域学研究科	2	-	-	-	-	-	-	-	平成19	-	
修士課程											
地域教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成19	同上	平成29年度から学生募集停止
医学系研究科	2・3・4	79	-	175				-	昭和33	-	
修士課程											
臨床心理学専攻	2	6	-	12	修士 (臨床心理学)	1.16	1.66	-	平成21	鳥取県米子市西町86番地	
博士課程											
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.78	0.80	-	平成16	同上	
博士前期課程											
医科学専攻	2	35	-	35		1.02	1.02	-	令和2	同上	
生命科学専攻	2	-	-	-	修士 (生命科学)	-	-	-	平成6	同上	令和2年度から学生募集停止
機能再生医科学専攻	2	-	-	-	修士 (再生医科学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度から学生募集停止
保健学専攻	2	-	-	-	修士 (保健学)	-	-	-	平成16	同上	令和2年度から学生募集停止
博士後期課程											
医科学専攻	3	8	-	8		0.62	0.62	-	令和2	同上	
生命科学専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学)	-	-	-	平成8	同上	令和2年度から学生募集停止
機能再生医科学専攻	3	-	-	-	博士 (再生医科学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度から学生募集停止
保健学専攻	3	-	-	-	博士 (保健学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年度から学生募集停止
工学研究科	3	21	-	63	-	0.69	0.66	-	昭和49	-	
博士後期課程											
機械宇宙工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.60	0.66	-	平成20	同上	
情報エレクトロニクス専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.55	0.50	-	平成20	同上	
化学・生物応用工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	1.08	0.50	-	平成20	同上	
社会基盤工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.66	1.00	-	平成20	同上	
連合農学研究科	3	19	-	57	-	1.24	0.84	-	平成元	-	
博士課程											
生産環境科学専攻	3	8	-	24	博士 (農学)	1.04	1.00	-	平成30	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
生命資源科学専攻	3	7	-	21	博士 (農学)	1.09	0.71	-	平成30	同上	

国際乾燥地科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	1.91	0.75	-	平成30	同上	
生物生産科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生募集停止
生物環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生募集停止
生物資源科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生募集停止
国際乾燥地科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成21	同上	平成30年度から学生募集停止
共同獣医学研究科	4	5	-	10	-	1.20	1.00	-	平成31	-	
博士課程											
共同獣医学専攻	4	5	-	10	博士 (獣医学)	1.20	1.00	-	平成31	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
大学院全体	2・3・4	375	-	807	-	0.91	0.94				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜医学系研究科 医科学専攻（博士前期課程）＞

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和２年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	初沢 清隆 ＜令和２年４月＞ 博士（農学）	専	教授	初沢 清隆 ＜令和２年４月＞ 博士（農学）
		細胞分子機構学特論 細胞分子機構学演習 基礎人類遺伝学特論Ⅰ 医科学特別研究			細胞分子機構学特論 細胞分子機構学演習 基礎人類遺伝学特論Ⅰ 医科学特別研究
専	教授	竹内 隆 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	専	教授	竹内 隆 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		基礎医科学概論 発生生物学特論 発生生物学演習 医科学特別研究			基礎医科学概論 発生生物学特論 発生生物学演習 医科学特別研究
専	教授	岡田 太 ＜令和２年４月＞ 医学博士	専	教授	岡田 太 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		実験腫瘍病理学特論 実験腫瘍病理学演習 医科学特別研究			実験腫瘍病理学特論 実験腫瘍病理学演習 医科学特別研究
専	教授	久郷 裕之 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）	専	教授	久郷 裕之 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		細胞分化・老化機構学特論 細胞工学特論 基礎人類遺伝学演習Ⅰ 医科学特別研究			細胞分化・老化機構学特論 細胞工学特論 基礎人類遺伝学演習Ⅰ 医科学特別研究
専	教授	畠 義郎 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	専	教授	畠 義郎 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		分子神経科学特論 システム神経科学特論 医科学特別研究			分子神経科学特論 システム神経科学特論 医科学特別研究
専	教授	汐田 剛史 ＜令和２年４月＞ 医学博士	専	教授	汐田 剛史 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		遺伝子医科学特論 再生医科学特論 遺伝子再生医科学演習 医科学特別研究			遺伝子医科学特論 再生医科学特論 遺伝子再生医科学演習 医科学特別研究
専	教授	久留 一郎 ＜令和２年４月＞ 医学博士	専	教授	久留 一郎 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		基礎医科学概論 再生医工学特論 再生医工学演習 医科学特別研究			基礎医科学概論 再生医工学特論 再生医工学演習 医科学特別研究
専	教授	萩野 浩 ＜令和２年４月＞ 医学博士	専	教授	萩野 浩 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		医療安全学特論 腫瘍医療学特論 病態生理学特論 生活機能看護学演習 フィジカルアセスメント特論 緩和ケア特論Ⅰ 緩和ケア演習Ⅰ 保健学特別研究			医療安全学特論 腫瘍医療学特論 病態生理学特論 生活機能看護学演習 フィジカルアセスメント特論 緩和ケア特論Ⅰ 緩和ケア演習Ⅰ 保健学特別研究
専	教授	深田 美香 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	専	教授	深田 美香 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		基礎医科学概論 教育の原理と方法 看護理論 生活機能看護学特論 看護コンサルテーション特論 看護学研究方法特論 看護教育学特論 保健学特別研究			基礎医科学概論 教育の原理と方法 看護理論 生活機能看護学特論 看護コンサルテーション特論 看護学研究方法特論 看護教育学特論 保健学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片岡 英幸 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療安全学特論 病態生理学特論 統計ソフトウェア演習 フィジカルアセスメント特論 がん看護に関する病態生理学 保健学特別研究
専	教授	中條 雅美 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		成人看護学特論 成人看護学演習 がん治療支援に関わる看護援助 論 緩和ケア特論Ⅰ 緩和ケア特論Ⅱ 緩和ケア演習Ⅰ 緩和ケア演習Ⅱ がん看護学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅲ 保健学特別研究
専	教授	山本 美輪 ＜令和２年４月＞ 博士（看護学）
		認知症予防学特論 認知症予防学演習 高齢者看護学特論 高齢者看護学演習 看護倫理学特論 保健学特別研究
専	教授	花木 啓一 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		病態生理学特論 統計ソフトウェア演習 遺伝医療と社会特論 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ 地域母子看護学特論 地域母子看護学演習 成育看護学特論 成育看護学演習 保健学特別研究
専	教授	鈴木 康江 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域医療システム学特論 病態生理学特論 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 遺伝サービス情報学演習 看護管理学特論 地域母子看護学特論 地域母子看護学演習 成育看護学特論 成育看護学演習 がん看護に関する理論 保健学特別研究
専	教授	佐々木（新庄）くみ子 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域母子看護学特論 地域母子看護学演習 成育看護学特論 成育看護学演習 フィジカルアセスメント特論 保健学特別研究
専	教授	松浦（中村）治代 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		看護理論 統合支援看護学特論 統合支援看護学演習 がん看護に関する理論 がん治療支援に関わる看護援助 論 保健学特別研究
専	教授	吉岡 伸一 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		病態生理学特論 臨床薬理学特論 ストレス医療学特論 精神保健学特論 精神保健学演習 フィジカルアセスメント特論 保健学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片岡 英幸 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療安全学特論 病態生理学特論 統計ソフトウェア演習 フィジカルアセスメント特論 がん看護に関する病態生理学 保健学特別研究
専	教授	中條 雅美 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		成人看護学特論 成人看護学演習 がん治療支援に関わる看護援助 論 緩和ケア特論Ⅰ 緩和ケア特論Ⅱ 緩和ケア演習Ⅰ 緩和ケア演習Ⅱ がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅲ 保健学特別研究
専	教授	
専	教授	花木 啓一 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		病態生理学特論 統計ソフトウェア演習 遺伝医療と社会特論 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ 地域母子看護学特論 地域母子看護学演習 成育看護学特論 成育看護学演習 保健学特別研究
専	教授	鈴木 康江 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域医療システム学特論 病態生理学特論 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 遺伝サービス情報学演習 看護管理学特論 地域母子看護学特論 地域母子看護学演習 成育看護学特論 成育看護学演習 がん看護に関する理論 保健学特別研究
専	教授	佐々木（新庄）くみ子 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域母子看護学特論 地域母子看護学演習 成育看護学特論 成育看護学演習 フィジカルアセスメント特論 保健学特別研究
専	教授	松浦（中村）治代 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		看護理論 統合支援看護学特論 統合支援看護学演習 がん看護に関する理論 がん治療支援に関わる看護援助 論 保健学特別研究
専	教授	吉岡 伸一 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		病態生理学特論 臨床薬理学特論 ストレス医療学特論 精神保健学特論 精神保健学演習 フィジカルアセスメント特論 保健学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	二宮 治明 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		環境科学特論 環境科学演習 基礎人類遺伝学特論Ⅰ 医科学特別研究
専	教授	網崎 孝志 ＜令和２年４月＞ 博士（薬学）
		臨床薬理学特論 医療統計解析学特論 生体機能・情報解析学特論 生体機能・情報解析学演習 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 遺伝サービス情報学演習 医科学特別研究
専	教授	浦上 克哉 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		認知症予防学特論 認知症予防学演習 医科学特別研究
専	教授	森 徹自 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		神経病態・遺伝子疾患学特論 神経病態・遺伝子疾患学演習 医科学特別研究
専	教授	北村 幸郷 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		腫瘍医療学特論 病態細胞学特論 病態細胞学演習 がん看護に関する病態生理学 医科学特別研究
専	教授	鯨岡 直人 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		基礎医科学概論 腫瘍医療学特論 病態制御学特論 病態制御学演習 フィジカルアセスメント特論 医科学特別研究
専	教授	尾崎 米厚 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域医療システム学特論 統合支援看護学特論
専	教授	本倉 徹 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		がん看護に関する病態生理学
専	教授	植木 賢 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		知財戦略特論Ⅰ 知財戦略演習Ⅰ 医療機器開発特論 医科学特別研究
専	教授	難波 栄二 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		基礎人類遺伝学特論Ⅰ※ 基礎人類遺伝学特論Ⅱ※ 基礎人類遺伝学演習Ⅰ※ 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 臨床遺伝学特論 臨床遺伝学演習 遺伝サービス情報学演習 遺伝医療と倫理演習 遺伝カウンセリング演習Ⅰ 遺伝カウンセリング演習Ⅱ 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ 医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	二宮 治明 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		環境科学特論 環境科学演習 基礎人類遺伝学特論Ⅰ 医科学特別研究
専	教授	網崎 孝志 ＜令和２年４月＞ 博士（薬学）
		臨床薬理学特論 医療統計解析学特論 生体機能・情報解析学特論 生体機能・情報解析学演習 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 遺伝サービス情報学演習 医科学特別研究
専	教授	浦上 克哉 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		認知症予防学特論 認知症予防学演習 医科学特別研究
専	教授	森 徹自 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		神経病態・遺伝子疾患学特論 神経病態・遺伝子疾患学演習 医科学特別研究
専	教授	北村 幸郷 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		腫瘍医療学特論 病態細胞学特論 病態細胞学演習 がん看護に関する病態生理学 医科学特別研究
専	教授	鯨岡 直人 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		基礎医科学概論 腫瘍医療学特論 病態制御学特論 病態制御学演習 フィジカルアセスメント特論 医科学特別研究
専	教授	尾崎 米厚 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域医療システム学特論 統合支援看護学特論
専	教授	本倉 徹 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		がん看護に関する病態生理学
専	教授	植木 賢 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		知財戦略特論Ⅰ 知財戦略演習Ⅰ 医療機器開発特論 医科学特別研究
専	教授	難波 栄二 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		基礎人類遺伝学特論Ⅰ 基礎人類遺伝学特論Ⅱ 基礎人類遺伝学演習Ⅰ 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 臨床遺伝学特論 臨床遺伝学演習 遺伝サービス情報学演習 遺伝医療と倫理演習 遺伝カウンセリング演習Ⅰ 遺伝カウンセリング演習Ⅱ 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ 医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	堀 直裕 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		細胞分子機構学特論 細胞分子機構学演習 基礎人類遺伝学特論Ⅰ 医科学特別研究
専	准教授	吉野 三也 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		免疫認識学特論 免疫認識学演習 医科学特別研究
専	准教授	尾崎 充彦 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		実験腫瘍病理学特論 実験腫瘍病理学演習 医科学特別研究
専	准教授	香月 康宏 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		細胞分化・老化機構学特論 細胞工学特論 医科学特別研究
専	准教授	中村 貴史 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		遺伝子治療学特論 遺伝子治療学演習 医科学特別研究
専	准教授	土谷 博之 ＜令和２年４月＞ 博士（薬学）
		遺伝子医科学特論 遺伝子再生医科学演習 医科学特別研究
専	准教授	白吉 安昭 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		再生医工学特論 再生医工学演習 医科学特別研究
専	准教授	安藤 泰至 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		医療倫理学特論 遺伝医療と倫理演習 保健学特別研究
専	准教授	笠城 典子 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		基礎人類遺伝学特論Ⅱ 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 遺伝サービス情報学演習 遺伝医療と社会特論 遺伝医療と倫理演習 遺伝カウンセリング特論 遺伝カウンセリング演習Ⅰ 遺伝カウンセリング演習Ⅱ 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ がん看護に関する病態生理学 がん治療支援に関わる看護援助 論 医科学特別研究 保健学特別研究
専	准教授	谷村 千華 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		看護理論 成人看護学特論 成人看護学演習 がん看護に関する理論 がん看護学実習Ⅰ 保健学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	堀 直裕 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		細胞分子機構学特論 細胞分子機構学演習 基礎人類遺伝学特論Ⅰ 医科学特別研究
専	准教授	吉野 三也 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		免疫認識学特論 免疫認識学演習 医科学特別研究
専	准教授	尾崎 充彦 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		実験腫瘍病理学特論 実験腫瘍病理学演習 医科学特別研究
専	准教授	香月 康宏 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		細胞分化・老化機構学特論 細胞工学特論 医科学特別研究
専	准教授	中村 貴史 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		遺伝子治療学特論 遺伝子治療学演習 医科学特別研究
専	准教授	土谷 博之 ＜令和２年４月＞ 博士（薬学）
		遺伝子医科学特論 遺伝子再生医科学演習 医科学特別研究
専	准教授	白吉 安昭 ＜令和２年４月＞ 理学博士
		再生医工学特論 再生医工学演習 医科学特別研究
専	准教授	安藤 泰至 ＜令和２年４月＞ 文学修士
		医療倫理学特論 遺伝医療と倫理演習 保健学特別研究
専	准教授	笠城 典子 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		基礎人類遺伝学特論Ⅱ 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 遺伝サービス情報学演習 遺伝医療と社会特論 遺伝医療と倫理演習 遺伝カウンセリング特論 遺伝カウンセリング演習Ⅰ 遺伝カウンセリング演習Ⅱ 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ がん看護に関する病態生理学 がん治療支援に関わる看護援助 論 医科学特別研究 保健学特別研究 看護倫理学特論
専	准教授	谷村 千華 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		看護理論 成人看護学特論 成人看護学演習 がん看護に関する理論 保健学特別研究 看護倫理学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤原 伸一 ＜令和２年４月＞ 博士（薬学）
		医療統計解析学特論 生体機能・情報解析学特論 環境科学特論 環境科学演習 医科学特別研究
専	准教授	中川 真由美 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		腫瘍医療学特論 病態細胞学特論 病態細胞学演習 フィジカルアセスメント特論 医科学特別研究
専	准教授	木場 智史 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		実用的生理学特論
専	准教授	濱田 紀宏 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域医療システム学特論※
専	講師	奥田 玲子 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		教育の原理と方法 生活機能看護学特論 生活機能看護学演習
専	講師	大庭 桂子 ＜令和２年４月＞ 修士（保健学）
		がん治療支援に関わる看護援助論 緩和ケア特論Ⅰ 緩和ケア特論Ⅱ
専	講師	三好 陽子 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		フィジカルアセスメント特論 緩和ケア特論Ⅱ
専	講師	池田 智子 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		地域母子看護学特論 地域母子看護学演習 成育看護学特論 成育看護学演習
専	講師	金田 由紀子 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		統合支援看護学特論 統合支援看護学演習
専	講師	上田 悦子 ＜令和２年４月＞ 博士（学術）
		神経病態・遺伝子疾患学特論 神経病態・遺伝子疾患学演習 医科学特別研究
専	講師	高村 歩美 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		認知症予防学特論 認知症予防学演習 医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤原 伸一 ＜令和２年４月＞ 博士（薬学）
		医療統計解析学特論 生体機能・情報解析学特論 環境科学特論 環境科学演習 医科学特別研究
専	准教授	中川 真由美 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		腫瘍医療学特論 病態細胞学特論 病態細胞学演習 フィジカルアセスメント特論 医科学特別研究
専	准教授	木場 智史 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		実用的生理学特論
専	准教授	濱田 紀宏 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域医療システム学特論※
専	講師	奥田 玲子 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		教育の原理と方法 生活機能看護学特論 生活機能看護学演習 看護倫理学特論
専	講師	大庭 桂子 ＜令和２年４月＞ 修士（保健学）
		がん治療支援に関わる看護援助論 緩和ケア特論Ⅰ 緩和ケア特論Ⅱ
専	准教授	三好 陽子 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		フィジカルアセスメント特論 緩和ケア特論Ⅱ 高齢者看護学特論 高齢者看護学演習 看護倫理学特論 認知症予防学特論※ 認知症予防学演習※
専	講師	金田 由紀子 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		統合支援看護学特論 統合支援看護学演習
専	講師	上田 悦子 ＜令和２年４月＞ 博士（学術）
		神経病態・遺伝子疾患学特論 神経病態・遺伝子疾患学演習 医科学特別研究
専	講師	高村 歩美 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		認知症予防学特論 認知症予防学演習 医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	下 廣 寿 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		病態制御学特論 病態制御学演習 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 遺伝サービス情報学演習 医科学特別研究
専	講師	佐 藤 研 吾 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		病態制御学特論 生体機能・情報解析学特論 生体機能・情報解析学演習 医科学特別研究
専	講師	大 山 賢 治 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝医療と社会特論
専	講師	鞆嶋（園山）有紀 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ
専	助教	平塚 正 治 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		医科学特別研究
専	助教	一 坂 吏 志 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		分子神経科学特論 システム神経科学特論 医科学特別研究
専	助教	佐 藤 武 正 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		分子神経科学特論 システム神経科学特論 医科学特別研究
専	助教	大 平 崇 人 ＜令和２年４月＞ 博士（再生医科学）
		医科学特別研究
専	助教	亀 山 克 朗 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		分子神経科学特論 システム神経科学特論 医科学特別研究
専	助教	黒 崎 創 ＜令和２年４月＞ 博士（再生医科学）
		医科学特別研究
専	助教	板場（松本）則子 ＜令和２年４月＞ 博士（再生医科学）
		再生医科学特論 医科学特別研究
専	助教	河 野 洋 平 ＜令和２年４月＞ 博士（再生医科学）
		再生医科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	下 廣 寿 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		病態制御学特論 病態制御学演習 基礎人類遺伝学演習Ⅱ 遺伝サービス情報学演習 医科学特別研究
専	講師	佐 藤 研 吾 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		病態制御学特論 生体機能・情報解析学特論 生体機能・情報解析学演習 医科学特別研究
専	講師	大 山 賢 治 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝医療と社会特論
専	講師	鞆嶋（園山）有紀 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ
専	助教	平塚 正 治 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		医科学特別研究
専	助教	一 坂 吏 志 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		分子神経科学特論 システム神経科学特論 医科学特別研究
専	助教	佐 藤 武 正 ＜令和２年４月＞ 博士（理学）
		分子神経科学特論 システム神経科学特論 医科学特別研究
専	助教	大 平 崇 人 ＜令和２年４月＞ 博士（再生医科学）
		医科学特別研究
専	助教	亀 山 克 朗 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		分子神経科学特論 システム神経科学特論 医科学特別研究
専	助教	黒 崎 創 ＜令和２年４月＞ 博士（再生医科学）
		医科学特別研究
専	助教	板場（松本）則子 ＜令和２年４月＞ 博士（再生医科学）
		再生医科学特論 医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	経遠 智一 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		医科学特別研究
専	助教	徳嶋 靖子 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域医療システム学特論
専	助教	河月 稔 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		認知症予防学特論 認知症予防学演習
専	助教	高橋 洋一 ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）
		医療倫理学特論
専	助教	三好 雅之 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		教育の原理と方法
専	助教	原田 崇 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝医療と社会特論 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ
兼任	教授	海藤 俊行 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		実用的解剖学特論
兼任	教授	渡邊 達生 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		基礎医科学概論 実用的生理学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	経遠 智一 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		医科学特別研究
専	助教	徳嶋 靖子 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		地域医療システム学特論
専	助教	河月 稔 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		認知症予防学特論 認知症予防学演習
専	助教	高橋 洋一 ＜令和２年４月＞ 修士（教育学）
		医療倫理学特論
専	助教	三好 雅之 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		教育の原理と方法
専	助教	原田 崇 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝医療と社会特論 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ
専	教授	常世田 好司 ＜令和２年４月＞ 博士（薬学）
		免疫認識学特論 免疫認識学演習 医科学特別研究
専	助教	酒井 知恵子 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		看護倫理学特論
専	助教	村田 暁彦 ＜令和２年４月＞ 博士（生命科学）
		医科学特別研究
兼任	教授	海藤 俊行 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		実用的解剖学特論
兼任	教授	渡邊 達生 ＜令和２年４月＞ 医学博士
		基礎医科学概論 実用的生理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今村 武史 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		薬理学・薬物療法学特論
兼任	教授	兼子 幸一 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	教授	稲垣 喜三 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療安全学特論
兼任	教授	黒崎 雅道 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療安全学特論
兼任	教授	前垣 義弘 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		基礎人類遺伝学特論Ⅰ 基礎人類遺伝学特論Ⅱ 基礎人類遺伝学演習Ⅰ 遺伝サービス情報学演習 遺伝医療と倫理演習 遺伝カウンセリング演習Ⅱ 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ
兼任	教授	菊池 義人 ＜令和２年４月＞ 博士（心理学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	教授	最上 多美子 ＜令和２年４月＞ 博士（哲学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	教授	井上 雅彦 ＜令和２年４月＞ 修士（心身障害学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	教授	千酌 浩樹 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療安全学特論
兼任	教授	島田（永田）美樹 ＜令和２年４月＞ 薬学博士
		医療安全学特論
兼任	教授	近藤 博史 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝サービス情報学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今村 武史 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		薬理学・薬物療法学特論
兼任	教授	兼子 幸一 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	教授	稲垣 喜三 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療安全学特論
兼任	教授	黒崎 雅道 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療安全学特論
兼任	教授	前垣 義弘 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		基礎人類遺伝学特論Ⅰ 基礎人類遺伝学特論Ⅱ 基礎人類遺伝学演習Ⅰ 遺伝サービス情報学演習 遺伝医療と倫理演習 遺伝カウンセリング演習Ⅱ 遺伝カウンセリング実習Ⅰ 遺伝カウンセリング実習Ⅱ
兼任	教授	菊池 義人 ＜令和２年４月＞ 博士（心理学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	教授	最上 多美子 ＜令和２年４月＞ 博士（哲学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	教授	井上 雅彦 ＜令和２年４月＞ 修士（心身障害学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	教授	千酌 浩樹 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療安全学特論
兼任	教授	島田（永田）美樹 ＜令和２年４月＞ 薬学博士
		医療安全学特論
兼任	教授	近藤 博史 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝サービス情報学演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	三 明 淳一郎 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		薬理学・薬物療法学特論
兼任	准教授	岩 田 正明 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	准教授	竹 田 伸也 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	准教授	上 原 一剛 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		知財戦略特論Ⅰ 知財戦略演習Ⅰ 医療機器開発特論
兼任	准教授	古 賀 敦朗 ＜令和２年４月＞ 修士（理学）
		医療機器開発特論
兼任	講師	福 崎 俊貴 ＜令和２年４月＞ 修士（臨床心理学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	講師	遠 藤 佑輔 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療倫理学特論 医療機器開発特論
兼任	准教授	大 原 高秋 ＜令和２年４月＞ 博士（学術）
		知財戦略特論Ⅰ
兼任	講師	曾 田 武史 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		生活機能看護学特論
兼任	講師	中 村 真由美 ＜令和２年４月＞ 修士（保健学）
		看護管理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	三 明 淳一郎 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		薬理学・薬物療法学特論
兼任	准教授	岩 田 正明 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	准教授	竹 田 伸也 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	准教授	上 原 一剛 ＜令和２年４月＞ 博士（工学）
		知財戦略特論Ⅰ 知財戦略演習Ⅰ 医療機器開発特論
兼任	准教授	古 賀 敦朗 ＜令和２年４月＞ 修士（理学）
		医療機器開発特論
兼任	講師	福 崎 俊貴 ＜令和２年４月＞ 修士（臨床心理学）
		遺伝カウンセリング特論
兼任	講師	遠 藤 佑輔 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医療倫理学特論 医療機器開発特論
兼任 教授		加 藤 雅彦 ＜令和２年４月＞ 博士（医学）
		医科学特別研究
兼任 教授		稲 岡 美恵子 ＜令和２年４月＞ 修士（法学）
		知財戦略特論Ⅰ
兼任	講師	曾 田 武史 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		生活機能看護学特論
兼任	講師	中 村 真由美 ＜令和２年４月＞ 修士（保健学）
		看護管理学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	和田 崇 ＜令和２年４月＞ 修士（保健学）	兼任	講師	和田 崇 ＜令和２年４月＞ 修士（保健学）
		生活機能看護学特論			生活機能看護学特論
兼任	講師	平松 哲哉 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）	兼任	講師	平松 哲哉 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		生活機能看護学特論			生活機能看護学特論
兼任	講師	山崎 祐輔 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）	兼任	講師	山崎 祐輔 ＜令和２年４月＞ 博士（保健学）
		生活機能看護学特論			生活機能看護学特論
兼任	講師	中西 康裕 ＜令和２年４月＞ 学士（工学）	兼任	講師	中西 康裕 ＜令和２年４月＞ 学士（工学）
		知財戦略特論Ⅰ			知財戦略特論Ⅰ

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和２年度】

<専任>

・山本美輪教授退職

・三好陽子准教授担当授業科目「高齢者看護学特論」「高齢者看護学演習」「看護倫理学特論」「認知症予防学特論」「認知症予防学演習」を追加

・中條雅美教授担当授業科目「がん看護学実習Ⅰ」を追加

・笠城典子准教授担当授業科目「看護倫理学特論」を追加

・谷村千華准教授担当授業科目「看護倫理学特論」を追加

・奥田玲子講師担当授業科目「看護倫理学特論」を追加

・池田智子講師退職

・河野洋平助教退職

・常世田好司教授採用

・酒井知恵子助教採用

・村田暁彦助教採用

<兼任>

・大原高秋准教授退職

・加藤雅彦教授採用

・稲岡美恵子教授採用

【令和３年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等
(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
9	6	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
27	14	11	14	66	0	27	15	9	15	66	0
(27)	(14)	(11)	(14)	(66)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
41	8	17				41	9	16			
(41)	(8)	(17)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
27	15	9	15	66	0	27	15	9	15	66	0
[0]	[1]	[△2]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△1]	[1]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
41	9	16				41	9	16			
[0]	[1]	[-1]				[0]	[1]	[-1]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{66}{66} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	山本 美輪	R2. 3	選択	認知症予防学特論	①	R2. 3. 31付け辞職のため就任辞退（2）						
				選択	認知症予防学演習	①							
				選択	高齢者看護学特論	①							
				選択	高齢者看護学演習	①							
				選択	看護倫理学特論	①							
				選択	保健学特別研究	③							
2	講師	池田 智子	R2. 3	選択	地域母子看護学特論	①	R2. 3. 31付け辞職のため就任辞退（2）						
				選択	地域母子看護学演習	①							
				選択	成育看護学特論	①							
				選択	成育看護学演習	①							
3	助教	河野 洋平	R2. 3	選択	再生医科学特論	①	R2. 3. 31付け辞職のため就任辞退（2）						
合 計 （ D ）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	1	科目

- （注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）- ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合 計 （ F ）						後任補充状況の集計 （ G ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計 （ a ） + （ b ） + （ c ）				①の合計数 （ a ）		②の合計数 （ b ）		③の合計数 （ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	11 科目	選択	10 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	11 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	1 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{66} = \boxed{4.54} \%$$

(注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計					後任補充状況の集計	
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

シラバスにより学生へ周知。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	【教育課程等に関する意見】当該専攻が保健学を含むことについて、学生や社会に対して適切に周知すること。	遵守事項 学生募集要項に養成する人物像を明記した他、養成する人物像に対応した履修モデルをHP上に掲載した。また学部学生や附属病院看護師に説明会を実施し、周知を行った。	履行済 引き続き左記の周知を実施する。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜医学系研究科医科学専攻（博士前期課程）＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

医科学専攻運営会議

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年4月22日（水）全員参加

c 委員会の審議事項等

1 組織としての医科学専攻の行動方針に関する事項

2 教員の人事を含む教育組織の体制に関する事項（不利益事項を除く。）

3 学位論文審査予備判定に関する事項（課程修了と論文提出によるもの）。

4 学生の入学、教育・研究、修了、生活及び進路に関する事項

5 運営会議の下部委員会等からの報告内容の調整に関する事項

6 その他専攻の運営に関わる事項

② 実施状況

a 実施内容

未定（令和2年5月以降開催予定）

b 実施方法

未定（令和2年5月以降開催予定）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

未定（令和2年5月以降開催予定）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

未定（令和2年5月以降開催予定）

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

未定（令和2年5月以降開催予定）

b 教員や学生への公開状況、方法等

未定（令和2年5月以降開催予定）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催時期)

該当なし

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・ 未定

b 公表方法

- ・ 未定

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和3年度に評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人鳥取大学

(2) 大 学 名

鳥取大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒683-8503

鳥取県米子市西町86番地

(〒680-8550

鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(ナカジマ ヒロミツ) 中島 廣光 (平成31年4月)		
研究科長	(クロザワ ヨウイチ) 黒沢 洋一 (令和2年4月)		
専 攻 長	(ハナキ ケイイチ) 花木 啓一 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学系研究科 医科学専攻 博士後期課程 (博士(医科学)) (博士(保健学))	医学関係 保健衛生学関係(看護学関係)	3年	8人	年次人	24人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	8人 (-) [-]		人 () []	人	人 () []	人	0.62倍	倍	
志願者数	6 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	5 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	5 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	5 (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	0.62								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	5 [-] (-)	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
2 年次			 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
3 年次					 [] ()	 [] ()	
計	5 [-] (-)		[] ()		[] ()		

- ・ 令和2年5月1日 公表
- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	5 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜医学系研究科 医科学専攻（博士後期課程）＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基盤的 教育科目	医科学研究特論	1前	1			1					
	生命・医療倫理学特論	1前	1				1				5
	高次基盤医学特論	1前	1								8
	小計(3科目)	－	3	0	0	1	1	0	0	0	13
スペシャリスト 教育科目（医科学）	知財戦略特論Ⅱ	1前		2							4
	知財戦略演習Ⅱ	1前		1							2
	分子応答制御学特論Ⅰ	1前		2		1	1				
	分子応答制御学演習Ⅰ	1前		1		1	1				
	感染防御機構学特論Ⅰ	1前		2			1				
	感染防御機構学演習Ⅰ	1前		1			1				
	高次発生生物学特論Ⅰ	1前		2		1					
	高次発生生物学演習Ⅰ	1前		1		1					
	先端腫瘍学特論Ⅰ	1前		2		1	1				
	先端腫瘍学演習Ⅰ	1前		1		1	1				
	行動神経科学特論	1前		2		1			3		
	行動神経科学演習	1前		1		1			3		
	遺伝子・染色体機能医工学特論	1前		2		1	1				
	遺伝子・染色体機能医工学演習	1前		1		1	1				
	分子医学特論	1前		2			1				
	分子医学演習	1前		1			1				
	腫瘍生物学特論	1前		2		1	1				
	腫瘍生物学演習	1前		1		1	1				
	循環再生医学特論	1前		2		1	1				
	循環再生医学演習	1前		1		1	1				
	先進保健学特論	1前		2		4	2				
	小計(21科目)	－	0	32	0	11	9	0	3	0	4
科スベ 目（保 健学） 教育	統合保健学研究方法特論	1前		2		4	1	1			
	成人・高齢者保健学特論	1前		2		3	1	1			
	成育地域保健学特論	1前		2		3	1				
	地域保健学特論	1前		2		3		1			
	小計(4科目)	－	0	8	0	11	3	2	0	0	0
アドバンス 教育科目（医科学）	分子応答制御学特論Ⅱ	1後		2		1	1				
	分子応答制御学演習Ⅱ	1後		1		1	1				
	感染防御機構学特論Ⅱ	1後		2			1				
	感染防御機構学演習Ⅱ	1後		1			1				
	高次発生生物学特論Ⅱ	1後		2		1					
	高次発生生物学演習Ⅱ	1後		1		1					
	先端腫瘍学特論Ⅱ	1後		2		1	1				
	先端腫瘍学演習Ⅱ	1後		1		1	1				
	神経機能再生学特論	1後		2		1					
	神経機能発達学特論	1後		2		1					
	染色体医工学特論	1後		2		1	1				
	染色体医工学演習	1後		1		1	1				
	腫瘍生物応用医科学特論	1後		2		1	1				
	腫瘍生物医科学演習	1後		1		1	1				
	組織工学特論	1後		2		1	1				
	組織工学演習	1後		1		1	1				
	腫瘍治療学特論	1後		2			1				
	腫瘍治療学演習	1後		1			1				
	先進保健学統合演習	1後		1		4	2				
	先進保健学探索演習	1後		1		4	2				
	小計(20科目)	－	0	30	0	11	9	0	0	0	0
アドバンス 教育科目（保健学）	成人・高齢者保健学統合演習	1後		1		3	1	1			
	成人・高齢者保健学探索演習	1後		1		3	1	1			
	成育地域保健学統合演習	1後		1		3	1				
	成育地域保健学探索演習	1後		1		3	1				
	地域保健学統合演習	1後		1		3		1			
	地域保健学探索演習	1後		1		3		1			
	小計(6科目)	－	0	6	0	9	2	2	0	0	0
特別 研究	統合医科学特別研究	1～3		4		12	9	4	8		
	統合保健学特別研究	1～3		4		9					
	小計(2科目)	－	0	8	0	21	9	4	8	0	0
合計(56科目)		－	3	84	0	22	13	4	8	0	17

卒業要件及び履修方法

医学系研究科医科学専攻(博士後期課程)に3年以上在学し、基盤的教育科目、スペシャリスト教育科目、アドバンス教育科目及び特別研究の各条件を満たして修得した単位の合計が12単位以上で、かつ学位論文(博士)の審査及び最終試験に合格すること。

基盤的教育科目、スペシャリスト教育科目、アドバンス教育科目及び特別研究の各修得条件は、以下のとおりである。

○基盤的教育科目から3単位修得すること。

○スペシャリスト教育科目から2単位以上、アドバンス教育科目から1単位以上を修得し、合計5単位以上を修得すること。
ただし、博士(医科学)の学位を取得するためには、スペシャリスト教育科目(医科学)から2単位以上を、アドバンス教育科目(医科学)から1単位以上を修得すること。博士(保健学)の学位を取得するためには、スペシャリスト教育科目(保健学)から2単位以上を、アドバンス教育科目(保健学)から1単位以上を修得すること。

○特別研究から、博士(医科学)の学位を取得するためには、「統合医科学特別研究」の4単位を、博士(保健学)の学位を取得するためには、「統合保健学特別研究」の4単位を修得すること。

また、本医科学専攻の博士前期課程を経ずに、博士後期課程に入学する者については、入学試験問題による選抜のうえで、入学決定後、入学までに基礎医学知識を身につけさせるため、博士前期課程の基盤的教育科目のうち「実用的解剖学特論」、「実用的生理学特論」、「薬理学・薬物療法学特論」について、単位外として入学前にe-learning教材の視聴を促す。さらに、入学後、博士前期課程の基盤的教育科目のうち「基礎医科学概論」を単位外として履修させる。

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
目基盤的 教育科目	医科学研究特論	1前	1			1					
	生命・医療倫理学特論	1前	1				1				5
	高次基盤医学特論	1前	1								8
	小計(3科目)	－	3	0	0	1	1	0	0	0	13
スペシャリスト 教育科目（医科学）	知財戦略特論Ⅱ	1前		2							4
	知財戦略演習Ⅱ	1前		1							2
	分子応答制御学特論Ⅰ	1前		2		1	1				
	分子応答制御学演習Ⅰ	1前		1		1	1				
	感染防御機構学特論Ⅰ	1前		2		1	1				
	感染防御機構学演習Ⅰ	1前		1		1	1				
	高次発生生物学特論Ⅰ	1前		2		1					
	高次発生生物学演習Ⅰ	1前		1		1					
	先端腫瘍学特論Ⅰ	1前		2		1	1				
	先端腫瘍学演習Ⅰ	1前		1		1	1				
	行動神経科学特論	1前		2		1			3		
	行動神経科学演習	1前		1		1			3		
	遺伝子・染色体機能医工学特論	1前		2		1	1				
	遺伝子・染色体機能医工学演習	1前		1		1	1				
	分子医学特論	1前		2			1				
	分子医学演習	1前		1			1				
	腫瘍生物学特論	1前		2		1	1				
	腫瘍生物学演習	1前		1		1	1				
	循環再生医学特論	1前		2		1	1				
	循環再生医学演習	1前		1		1	1				
	先進保健学特論	1前		2		4	2				
	小計(21科目)	－	0	32	0	12	9	0	3	0	4
育科ス 目（保 健学） 教育	統合保健学研究方法特論	1前		2		4	1	1			
	成人・高齢者保健学特論	1前		2		3	1	1			
	成育地域保健学特論	1前		2		3	1				
	地域保健学特論	1前		2		2	1	1			
	小計(4科目)	－	0	8	0	10	4	2	0	0	0
アドバンス 教育科目（医科学）	分子応答制御学特論Ⅱ	1後		2		1	1				
	分子応答制御学演習Ⅱ	1後		1		1	1				
	感染防御機構学特論Ⅱ	1後		2		1	1				
	感染防御機構学演習Ⅱ	1後		1		1	1				
	高次発生生物学特論Ⅱ	1後		2		1					
	高次発生生物学演習Ⅱ	1後		1		1					
	先端腫瘍学特論Ⅱ	1後		2		1	1				
	先端腫瘍学演習Ⅱ	1後		1		1	1				
	神経機能再生学特論	1後		2		1					
	神経機能発達学特論	1後		2		1					
	染色体医工学特論	1後		2		1	1				
	染色体医工学演習	1後		1		1	1				
	腫瘍生物応用医科学特論	1後		2		1	1				
	腫瘍生物医科学演習	1後		1		1	1				
	組織工学特論	1後		2		1	1				
	組織工学演習	1後		1		1	1				
	腫瘍治療学特論	1後		2			1				
	腫瘍治療学演習	1後		1			1				
	先進保健学統合演習	1後		1		4	2				
	先進保健学探索演習	1後		1		4	2				
	小計(20科目)	－	0	30	0	12	9	0	0	0	0
アドバンス 教育科目（保健学）	成人・高齢者保健学統合演習	1後		1		3	1	1			
	成人・高齢者保健学探索演習	1後		1		3	1	1			
	成育地域保健学統合演習	1後		1		3	1				
	成育地域保健学探索演習	1後		1		3	1				
	地域保健学統合演習	1後		1		2	1	1			
	地域保健学探索演習	1後		1		2	1	1			
	小計(6科目)	－	0	6	0	8	3	2	0	0	0
特別 研究	統合医科学特別研究	1～3		4		13	9	4	9		1
	統合保健学特別研究	1～3		4		9					1
	小計(2科目)	－	0	8	0	22	9	4	9	0	1
合計(56科目)		－	3	84	0	22	14	4	9	0	18

卒業要件及び履修方法

医学系研究科医科学専攻(博士後期課程)に3年以上在学し、基盤的教育科目、スペシャリスト教育科目、アドバンス教育科目及び特別研究の各条件を満たして修得した単位の合計が12単位以上で、かつ学位論文(博士)の審査及び最終試験に合格すること。

基盤的教育科目、スペシャリスト教育科目、アドバンス教育科目及び特別研究の各修得条件は、以下のとおりである。

○基盤的教育科目から3単位修得すること。

○スペシャリスト教育科目から2単位以上、アドバンス教育科目から1単位以上を修得し、合計5単位以上を修得すること。
ただし、博士(医科学)の学位を取得するためには、スペシャリスト教育科目(医科学)から2単位以上を、アドバンス教育科目(医科学)から1単位以上を修得すること。博士(保健学)の学位を取得するためには、スペシャリスト教育科目(保健学)から2単位以上を、アドバンス教育科目(保健学)から1単位以上を修得すること。

○特別研究から、博士(医科学)の学位を取得するためには、「統合医科学特別研究」の4単位を、博士(保健学)の学位を取得するためには、「統合保健学特別研究」の4単位を修得すること。

また、本医科学専攻の博士前期課程を経ずに、博士後期課程に入学する者については、入学試験問題による選抜のうえで、入学決定後、入学までに基礎医学知識を身につけさせるため、博士前期課程の基盤的教育科目のうち「実用的解剖学特論」、「実用的生理学特論」、「薬理学・薬物療法学特論」について、単位外として入学前にe-learning教材の視聴を促す。さらに、入学後、博士前期課程の基盤的教育科目のうち「基礎医科学概論」を単位外として履修させる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 教員の採用により、「感染防御機構学特論Ⅰ・Ⅱ」「感染防御機構学演習Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・ 教員の退職、後任補充により、「地域保健学特論」「地域保健学統合演習」「地域保健学探索演習」の専任教員等の配置を「教授3、講師1」から「教授2、准教授1、講師1」に変更。
- ・ 教員の退職、後任補充により、「統合医科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授12、准教授9、講師4、助教8」から「教授13、准教授9、講師4、助教9、兼担1」に変更。
- ・ 「統合保健学特別研究」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授9、兼担1」に変更。

【令和3年度】

【令和4年度】

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	53 科目	0 科目	56 科目	3 科目 [0]	53 科目 [0]	0 科目 [0]	56 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{56} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容						備考	
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計		大学全体 その他のうち、 附属病院 51,492㎡	
	校 舎 敷 地	250,060 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		250,060 ㎡			
	運動場用地	123,946 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		123,946 ㎡			
	小 計	374,006 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		374,006 ㎡			
	そ の 他	9,321,100 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		9,321,100 ㎡			
	合 計	9,695,106 ㎡	0 ㎡	0 ㎡		9,695,106 ㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計		別途附属病院 72,428㎡	
		132,192 ㎡ (132,192 ㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)		132,192 ㎡ (132,192 ㎡)			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室		情報処理学習施設	語学学習施設		
		102室	75室	589室		3室 (補助職員 〇人)	〇室 (補助職員 〇人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		医学系研究科医科学専攻（博士後期課程）			37 室				
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能のため、大学全体の数。
		699,057 [191,625] (699,057 [191,625])	19,150 [8,892] (19,150 [8,892])	6,141 [4,761] (6,141 [4,761])					
	医学系研究科 医科学専攻								
	計								
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		6,014㎡		915		657,439			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		3,321㎡		武道場、弓道場、陸上競技場、野球場、テニスコート ラグビー兼サッカー場、水泳プール					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
		共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			—					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（2）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	鳥取大学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
<学部>	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
地域学部	4	170	-	680	-	1.05	1.07	-	平成16	-	
地域学科	4	170	-	680	学士 (地域学)	1.05	1.07	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山 町南4丁目101番地	
地域創造コース	4	60	-	240	学士 (地域学)	1.07	1.08	-	平成29	同上	
人間形成コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.06	1.10	-	平成29	同上	
国際地域文化コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.03	1.01	-	平成29	同上	
地域政策学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域教育学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域文化学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域環境学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生 募集停止
医学部	4・6	264	2年次 5	1,294	-	1.00	1.00	-	昭和24	-	
医学科	6	104	2年次 5	654	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	昭和24	鳥取県米子市西 町86番地	令和2年度から収容定 員増延長
生命科学科	4	40	-	160	学士 (生命科 学)	1.04	1.02	-	平成 2	同上	
保健学科	4	120	-	480	-	1.01	1.00	-	平成11	同上	
看護学専攻	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.01	1.01	-	平成11	同上	
検査技術科学専攻	4	40	-	160	学士 (保健学)	1.02	1.00	-	平成11	同上	
工学部	4	450	-	1,800	-	1.02	1.04	-	昭和40	-	
機械物理系学科	4	115	-	460	学士 (工学)	1.05	1.10	-	平成27	鳥取県鳥取市湖山 町南4丁目101番地	
電気情報系学科	4	125	-	500	学士 (工学)	1.02	1.00	-	平成27	同上	
化学バイオ系学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.03	1.05	-	平成27	同上	
社会システム土木系学科	4	110	-	440	学士 (工学)	1.01	1.03	-	平成27	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
物質工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
社会開発システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生 募集停止
応用数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成 7	同上	平成27年度から学生 募集停止
農学部	4・6	255	-	1,090	-	1.03	1.02	-	昭和24	-	
生命環境農学科	4	220	-	880	学士 (農学)	1.02	1.01	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山 町南4丁目101番地	
生物資源環境学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	-	平成11	同上	平成29年度から学生 募集停止
共同獣医学科	6	35	-	210	学士 (獣医学)	1.04	1.08	-	平成25	同上	
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	-	-	昭和24	同上	平成25年度から学生 募集停止
大学全体	4・6	1,139	2年次 5	4,864	-	1.02	1.03	-	-	-	

<大学院>											
持続性社会創生科学研究科	2	251	-	502	-	1.02	0.97	-	平成29	-	
博士前期課程											
地域学専攻	2	20	-	40	-	0.50	0.35	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
地域創生コース	2	10	-	20	修士 (地域学)	0.25	0.30	-	平成29	同上	
人間形成コース	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.75	0.40	-	平成29	同上	
工学専攻	2	165	-	330	修士 (工学又は学術)	1.16	1.12	-	平成29	同上	
農学専攻	2	46	-	92	修士 (農学)	0.86	0.73	-	平成29	同上	
国際乾燥地科学専攻	2	20	-	40	修士 (農学又は学術)	0.87	0.95	-	平成29	同上	
地域学研究科	2	-	-	-	-	-	-	-	平成19	-	
修士課程											
地域教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成19	同上	平成29年度から学生募集停止
医学系研究科	2・3・4	79	-	175				-	昭和33	-	
修士課程											
臨床心理学専攻	2	6	-	12	修士 (臨床心理学)	1.16	1.66	-	平成21	鳥取県米子市西町86番地	
博士課程											
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.78	0.80	-	平成16	同上	
博士前期課程											
医科学専攻	2	35	-	35		1.02	1.02	-	令和2	同上	
生命科学専攻	2	-	-	-	修士 (生命科学)	-	-	-	平成6	同上	令和2年度から学生募集停止
機能再生医科学専攻	2	-	-	-	修士 (再生医科学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度から学生募集停止
保健学専攻	2	-	-	-	修士 (保健学)	-	-	-	平成16	同上	令和2年度から学生募集停止
博士後期課程											
医科学専攻	3	8	-	8		0.62	0.62	-	令和2	同上	
生命科学専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学)	-	-	-	平成8	同上	令和2年度から学生募集停止
機能再生医科学専攻	3	-	-	-	博士 (再生医科学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度から学生募集停止
保健学専攻	3	-	-	-	博士 (保健学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年度から学生募集停止
工学研究科	3	21	-	63	-	0.69	0.66	-	昭和49	-	
博士後期課程											
機械宇宙工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.60	0.66	-	平成20	同上	
情報エレクトロニクス専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.55	0.50	-	平成20	同上	
化学・生物応用工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	1.08	0.50	-	平成20	同上	
社会基盤工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.66	1.00	-	平成20	同上	
連合農学研究科	3	19	-	57	-	1.24	0.84	-	平成元	-	
博士課程											
生産環境科学専攻	3	8	-	24	博士 (農学)	1.04	1.00	-	平成30	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
生命資源科学専攻	3	7	-	21	博士 (農学)	1.09	0.71	-	平成30	同上	

国際乾燥地科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	1.91	0.75	-	平成30	同上	
生物生産科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生募集停止
生物環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生募集停止
生物資源科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生募集停止
国際乾燥地科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成21	同上	平成30年度から学生募集停止
共同獣医学研究科	4	5	-	10	-	1.20	1.00	-	平成31	-	
博士課程											
共同獣医学専攻	4	5	-	10	博士 (獣医学)	1.20	1.00	-	平成31	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
大学院全体	2・3・4	375	-	807	-	0.91	0.94				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学系研究科 医科学専攻（博士後期課程）>

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	初沢 清隆 ＜令和2年4月＞ 博士（農学）
		医科学研究特論 分子応答制御学特論Ⅰ 分子応答制御学演習Ⅰ 分子応答制御学特論Ⅱ 分子応答制御学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	教授	竹内 隆 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		高次発生生物学特論Ⅰ 高次発生生物学演習Ⅰ 高次発生生物学特論Ⅱ 高次発生生物学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	教授	岡田 太 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		先端腫瘍学特論Ⅰ 先端腫瘍学演習Ⅰ 先端腫瘍学特論Ⅱ 先端腫瘍学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	教授	久郷 裕之 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		遺伝子・染色体機能医工学特論 遺伝子・染色体機能医工学演習 染色体医工学特論 染色体医工学演習 統合医科学特別研究
専	教授	畠 義郎 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		行動神経科学特論 行動神経科学演習 神経機能再生学特論 神経機能発達学特論 統合医科学特別研究
専	教授	汐田 剛史 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		腫瘍生物学特論 腫瘍生物学演習 腫瘍生物応用医科学特論 腫瘍生物医科学演習 統合医科学特別研究
専	教授	久留 一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		循環再生医学特論 循環再生医学演習 組織工学特論 組織工学演習 統合医科学特別研究
専	教授	萩野 浩 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		統合保健学研究方法特論
専	教授	深田 美香 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		統合保健学研究方法特論 統合保健学特別研究
専	教授	片岡 英幸 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習 統合保健学特別研究

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	初沢 清隆 ＜令和2年4月＞ 博士（農学）
		医科学研究特論 分子応答制御学特論Ⅰ 分子応答制御学演習Ⅰ 分子応答制御学特論Ⅱ 分子応答制御学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	教授	竹内 隆 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		高次発生生物学特論Ⅰ 高次発生生物学演習Ⅰ 高次発生生物学特論Ⅱ 高次発生生物学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	教授	岡田 太 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		先端腫瘍学特論Ⅰ 先端腫瘍学演習Ⅰ 先端腫瘍学特論Ⅱ 先端腫瘍学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	教授	久郷 裕之 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		遺伝子・染色体機能医工学特論 遺伝子・染色体機能医工学演習 染色体医工学特論 染色体医工学演習 統合医科学特別研究
専	教授	畠 義郎 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		行動神経科学特論 行動神経科学演習 神経機能再生学特論 神経機能発達学特論 統合医科学特別研究
専	教授	汐田 剛史 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		腫瘍生物学特論 腫瘍生物学演習 腫瘍生物応用医科学特論 腫瘍生物医科学演習 統合医科学特別研究
専	教授	久留 一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		循環再生医学特論 循環再生医学演習 組織工学特論 組織工学演習 統合医科学特別研究
専	教授	萩野 浩 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		統合保健学研究方法特論 統合保健学特別研究
専	教授	深田 美香 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		統合保健学研究方法特論 統合保健学特別研究
専	教授	片岡 英幸 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習 統合保健学特別研究 統合保健学研究方法特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中條 雅美 ＜令和2年4月＞ 博士(保健学)
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	山本 美輪 ＜令和2年4月＞ 博士（看護学）
		統合保健学研究方法特論 地域保健学特論 地域保健学統合演習 地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	花木 啓一 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		統合保健学研究方法特論 成育地域保健学特論 成育地域保健学統合演習 成育地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	鈴木 康江 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		成育地域保健学特論 成育地域保健学統合演習 成育地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	佐々木（新庄）＜み子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		成育地域保健学特論 成育地域保健学統合演習 成育地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	松浦（中村）治代 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		地域保健学特論 地域保健学統合演習 地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	吉岡 伸一 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		地域保健学特論 地域保健学統合演習 地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	二宮 治明 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	教授	網崎 孝志 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	教授	森 徹自 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	教授	北村 幸郷 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	教授	鱒岡 直人 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習 統合医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中條 雅美 ＜令和2年4月＞ 博士(保健学)
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習 統合保健学特別研究
専		
専	教授	花木 啓一 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		統合保健学研究方法特論 成育地域保健学特論 成育地域保健学統合演習 成育地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	鈴木 康江 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		成育地域保健学特論 成育地域保健学統合演習 成育地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	佐々木（新庄）＜み子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		成育地域保健学特論 成育地域保健学統合演習 成育地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	松浦（中村）治代 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		地域保健学特論 地域保健学統合演習 地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	吉岡 伸一 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		地域保健学特論 地域保健学統合演習 地域保健学探索演習 統合保健学特別研究
専	教授	二宮 治明 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	教授	網崎 孝志 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	教授	森 徹自 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	教授	北村 幸郷 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	教授	鱒岡 直人 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習 統合医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	堀 直裕 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		分子応答制御学特論Ⅰ 分子応答制御学演習Ⅰ 分子応答制御学特論Ⅱ 分子応答制御学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	准教授	吉野 三也 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		感染防御機構学特論Ⅰ 感染防御機構学演習Ⅰ 感染防御機構学特論Ⅱ 感染防御機構学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	准教授	尾崎 充彦 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		先端腫瘍学特論Ⅰ 先端腫瘍学演習Ⅰ 先端腫瘍学特論Ⅱ 先端腫瘍学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	准教授	香月 康宏 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		遺伝子・染色体機能医工学特論 遺伝子・染色体機能医工学演習 染色体医工学特論 染色体医工学演習 統合医科学特別研究
専	准教授	中村 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		分子医学特論 分子医学演習 腫瘍治療学特論 腫瘍治療学演習 統合医科学特別研究
専	准教授	土谷 博之 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		腫瘍生物学特論 腫瘍生物学演習 腫瘍生物応用医科学特論 腫瘍生物医科学演習 統合医科学特別研究
専	准教授	白吉 安昭 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		循環再生医学特論 循環再生医学演習 組織工学特論 組織工学演習 統合医科学特別研究
専	准教授	安藤 泰至 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		統合保健学研究方法特論
専	准教授	笠城 典子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習
専	准教授	谷村 千華 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習
専	准教授	藤原 伸一 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	堀 直裕 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		分子応答制御学特論Ⅰ 分子応答制御学演習Ⅰ 分子応答制御学特論Ⅱ 分子応答制御学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	准教授	吉野 三也 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		感染防御機構学特論Ⅰ 感染防御機構学演習Ⅰ 感染防御機構学特論Ⅱ 感染防御機構学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	准教授	尾崎 充彦 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		先端腫瘍学特論Ⅰ 先端腫瘍学演習Ⅰ 先端腫瘍学特論Ⅱ 先端腫瘍学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	准教授	香月 康宏 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		遺伝子・染色体機能医工学特論 遺伝子・染色体機能医工学演習 染色体医工学特論 染色体医工学演習 統合医科学特別研究
専	准教授	中村 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		分子医学特論 分子医学演習 腫瘍治療学特論 腫瘍治療学演習 統合医科学特別研究
専	准教授	土谷 博之 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		腫瘍生物学特論 腫瘍生物学演習 腫瘍生物応用医科学特論 腫瘍生物医科学演習 統合医科学特別研究
専	准教授	白吉 安昭 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		循環再生医学特論 循環再生医学演習 組織工学特論 組織工学演習 統合医科学特別研究
専	准教授	安藤 泰至 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		統合保健学研究方法特論
専	准教授	笠城 典子 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習
専	准教授	谷村 千華 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習
専	准教授	藤原 伸一 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		先進保健学特論 先進保健学統合演習 先進保健学探索演習 統合医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中川 真由美 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		成育地域保健学特論 成育地域保健学統合演習 成育地域保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	准教授	大林 徹也 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		生命・医療倫理学特論
専	講師	上田 悦子 ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		統合医科学特別研究
専	講師	高村 歩美 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		統合保健学研究方法特論 地域保健学特論 地域保健学統合演習 地域保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	講師	下廣 寿 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		統合医科学特別研究
専	講師	佐藤 研吾 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	助教	平塚 正治 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		統合医科学特別研究
専	助教	一坂 吏志 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		行動神経科学特論 行動神経科学演習 統合医科学特別研究
専	助教	佐藤 武正 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		行動神経科学特論 行動神経科学演習 統合医科学特別研究
専	助教	大平 崇人 ＜令和2年4月＞ 博士（再生医科学）
		統合医科学特別研究
専	助教	亀山 克朗 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		行動神経科学特論 行動神経科学演習 統合医科学特別研究
専	助教	黒崎 創 ＜令和2年4月＞ 博士（再生医科学）
		統合医科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中川 真由美 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		成育地域保健学特論 成育地域保健学統合演習 成育地域保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	准教授	大林 徹也 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		生命・医療倫理学特論
専	講師	上田 悦子 ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		統合医科学特別研究
専	講師	高村 歩美 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		統合保健学研究方法特論 地域保健学特論 地域保健学統合演習 地域保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	講師	下廣 寿 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		統合医科学特別研究
専	講師	佐藤 研吾 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		成人・高齢者保健学特論 成人・高齢者保健学統合演習 成人・高齢者保健学探索演習 統合医科学特別研究
専	助教	平塚 正治 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		統合医科学特別研究
専	助教	一坂 吏志 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		行動神経科学特論 行動神経科学演習 統合医科学特別研究
専	助教	佐藤 武正 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		行動神経科学特論 行動神経科学演習 統合医科学特別研究
専	助教	大平 崇人 ＜令和2年4月＞ 博士（再生医科学）
		統合医科学特別研究
専	助教	亀山 克朗 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		行動神経科学特論 行動神経科学演習 統合医科学特別研究
専	助教	黒崎 創 ＜令和2年4月＞ 博士（再生医科学）
		統合医科学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	板場（松本） 則子 ＜令和2年4月＞ 博士（再生医科学）
		統合医科学特別研究
専	助教	經遠 智一 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		統合医科学特別研究
兼任	教授	梅北 善久 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		生命・医療倫理学特論
兼任	教授	磯本 一 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論
兼任	教授	山崎 章 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		生命・医療倫理学特論
兼任	教授	兼子 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論
兼任	教授	前垣 義弘 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		生命・医療倫理学特論
兼任	教授	植木 賢 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		知財戦略特論Ⅱ 知財戦略演習Ⅱ
兼任	教授	難波 栄二 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命・医療倫理学特論
兼任	准教授	松尾 聡 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	板場（松本） 則子 ＜令和2年4月＞ 博士（再生医科学）
		統合医科学特別研究
専	助教	經遠 智一 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		統合医科学特別研究
専	准教授	三好 陽子 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		地域保健学特論 地域保健学統合演習 地域保健学探索演習
専	教授	常世田 好司 ＜令和2年4月＞ 博士（薬学）
		感染防御機構学特論Ⅰ 感染防御機構学演習Ⅰ 感染防御機構学特論Ⅱ 感染防御機構学演習Ⅱ 統合医科学特別研究
専	助教	村田 暁彦 ＜令和2年4月＞ 博士（生命科学）
		統合医科学特別研究
兼任	教授	梅北 善久 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		生命・医療倫理学特論
兼任	教授	磯本 一 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論
兼任	教授	山崎 章 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		生命・医療倫理学特論
兼任	教授	兼子 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論
兼任	教授	前垣 義弘 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		生命・医療倫理学特論
兼任	教授	植木 賢 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		知財戦略特論Ⅱ 知財戦略演習Ⅱ
兼任	教授	難波 栄二 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		生命・医療倫理学特論
兼任	准教授	松尾 聡 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	大槻 均 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	大槻 均 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論			高次基盤医学特論
兼任	准教授	三明 淳一郎 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	三明 淳一郎 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		生命・医療倫理学特論			生命・医療倫理学特論
兼任	准教授	加藤 雅彦 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	加藤 雅彦 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論			高次基盤医学特論 統合保健学特別研究
兼任	准教授	八島 一夫 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	八島 一夫 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論			高次基盤医学特論
兼任	准教授	岡田 晋一 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	岡田 晋一 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論			高次基盤医学特論
兼任	准教授	大石 徹郎 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	兼任	准教授	大石 徹郎 ＜令和2年4月＞ 博士（医学）
		高次基盤医学特論			高次基盤医学特論
兼任	准教授	上原 一剛 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）	兼任	准教授	上原 一剛 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		知財戦略特論Ⅱ 知財戦略演習Ⅱ			知財戦略特論Ⅱ 知財戦略演習Ⅱ
兼任	准教授	大原 高秋 ＜令和2年4月＞ 博士（学術）			
		知財戦略特論Ⅱ			
			兼任 教授		稲岡 美恵子 ＜令和2年4月＞ 修士（法学）
					知財戦略特論Ⅱ
兼任	講師	奥野 彰彦 ＜令和2年4月＞ 修士（農学）	兼任	講師	奥野 彰彦 ＜令和2年4月＞ 修士（農学）
		知財戦略特論Ⅱ			知財戦略特論Ⅱ

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

<専任>
・山本美輪教授辞職
・萩野浩教授担当授業科目「統合保健学特別研究」を追加
・片岡英幸教授担当授業科目「統合保健学研究方法特論」を追加
・三好陽子准教授採用（山本美輪教授後任補充）
・常世田好司教授採用
・村田暁彦助教採用
<兼任>
・大原高秋准教授辞職
・加藤雅彦准教授担当授業科目「統合保健学特別研究」を追加
・稲岡美恵子教授採用

【令和3年度】

【令和4年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等
(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
22	13	4	8	47	0	22	14	4	9	49	0
(22)	(13)	(4)	(8)	(47)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
34	8	5				35	9	5			
(34)	(8)	(5)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
22	14	4	9	49	0	22	14	4	9	49	0
[0]	[1]	[0]	[1]	[2]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[2]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
35	9	5				35	9	5			
[1]	[1]	[0]				[1]	[1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{49}{47} = \boxed{104.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{49} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	山本 美輪	R2.3	選択	統合保健学研究方法概論	①	R2.3.31付け退職のため就任辞退(2)						
				選択	地域保健学特論	①							
				選択	地域保健学統合演習	①							
				選択	地域保健学探索演習	①							
				選択	統合保健学特別研究	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合 計 （ F ）						後任補充状況の集計 （ G ）							
辞任した教員数			担当科目数の合計 （a） + （b） + （c）			①の合計数 （a）		②の合計数 （b）		③の合計数 （c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)－③合計(D)+(F)}{(2)－②設置時の計画(A)} = \frac{1}{47} = \boxed{2.12} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

シラバスにより学生へ周知。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	【教育課程等に関する意見】当該専攻が保健学を含むことについて、学生や社会に対して適切に周知すること。	遵守事項 学生募集要項に養成する人物像を明記した他、養成する人物像に対応した履修モデルをHP上に掲載した。また学部学生や附属病院看護師に説明会を実施し、周知を行った。	履行済 引き続き左記の周知を実施する。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学系研究科医科学専攻（博士後期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
医科学専攻運営会議

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
令和2年4月22日（水）全員参加

c 委員会の審議事項等

- 1 組織としての医科学専攻の行動方針に関する事項
- 2 教員の人事を含む教育組織の体制に関する事項（不利益事項を除く。）
- 3 学位論文審査予備判定に関する事項（課程修了と論文提出によるもの）。
- 4 学生の入学、教育・研究、修了、生活及び進路に関する事項
- 5 運営会議の下部委員会等からの報告内容の調整に関する事項
- 6 その他専攻の運営に関わる事項

② 実施状況

a 実施内容
未定（令和2年5月以降開催予定）

b 実施方法
未定（令和2年5月以降開催予定）

c 開催状況（教員の参加状況含む）
未定（令和2年5月以降開催予定）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
未定（令和2年5月以降開催予定）

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
未定（令和2年5月以降開催予定）

b 教員や学生への公開状況、方法等
未定（令和2年5月以降開催予定）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催時期)

該当なし

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 未定

b 公表方法

・ 未定

③ 認証評価を受ける計画

・ 令和3年度に評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻運営会議の運営に関する申合せ

令和2年5月1日
医科学専攻運営会議承認

(趣旨)

第1条 この申合せは、鳥取大学大学院医学系研究科専攻運営会議規程（平成16年鳥取大学医学部規則第15号。以下「規程」という。）第9条の規定に基づき、鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻運営会議（以下「運営会議」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(運営会議の審議事項)

第2条 規程第2条第1号から第3号までの審議事項は、運営会議においては次のとおりとする。

- 一 組織としての医科学専攻の行動方針に関する事項
- 二 教員の人事を含む教育組織の体制に関する事項（不利益事項を除く。）
- 三 学位論文審査予備判定に関する事項（課程修了と論文提出によるもの）。
- 四 学生の入学、教育・研究、修了、生活及び進路に関する事項
- 五 運営会議の下部委員会等からの報告内容の調整に関する事項
- 六 その他専攻の運営に関わる事項

(運営小委員会)

第3条 運営会議の下に、次に掲げる運営小委員会を置く。

- 一 生命科学運営小委員会
 - 二 機能再生・医学運営小委員会
 - 三 医用検査・保健看護運営小委員会
- 2 各運営小委員会の審議内容のうち、委員長が必要と認めた事項については、運営会議に報告するものとする。

(委員)

第4条 各運営小委員会の委員は、運営会議の構成員をもって充て、次のとおりとする。

- 一 第3条第1号の委員は、医学部生命科学科の教員が組織する部門（細胞ゲノム機能学分野及び神経科学分野を除く。）の構成員とする。
- 二 第3条第2号の委員は、医学部生命科学科細胞ゲノム機能学分野及び神経科学分野の教員が組織する部門の構成員、医学部医学科分子医学分野、遺伝子医療学分野及び再生医療学分野の教員が組織する部門の構成員並びに他の運営小委員会に属さない構成員とする。
- 三 第3条第3号の委員は、医学部保健学科の教員が組織する部門の構成員とする。

(委員長)

第5条 各運営小委員会は、専攻長又は副専攻長が招集し、その委員長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(運営小委員会の審議事項)

第6条 各運営小委員会は、次の事項を審議する。

- 一 専攻長及び副専攻長の候補者の選出に関すること。

- 二 大学院委員会委員の候補者の選出に関する事。
- 三 各運営小委員会構成員の所属する部門の運営全般に関する事
- 四 その他委員長が必要と認める事項に関する事。

(専攻長・副専攻長候補者の選出)

第 7 条 前条第 1 号に定める候補者の選出人数は、各運営小委員会から 1 名ずつとし、候補者 3 名の合議により、専攻長候補者 1 名、副専攻長候補者 2 名を選出の上、研究科長へ上申する。

(大学院委員会委員候補者の選出)

第 8 条 第 6 条第 2 号に定める候補者の選出人数は下表に掲げるとおりとし、各運営小委員会は、選出した候補者を専攻長へ上申する。ただし、前条の規定により選出した専攻長・副専攻長候補者が副専攻長に任ぜられた運営小委員会は、当該副専攻長 1 名を大学院委員会委員候補者 1 名に充てることとする。

運営小委員会	大学院委員会委員候補者
生命科学	1 名
機能再生・医学	1 名
医用検査・保健看護	2 名

(申合せの見直し)

第 9 条 この申合せは、医学系研究科生命科学専攻、医学系研究科機能再生医科学専攻又は医学系研究科保健学専攻が廃止された際に、見直しを行うこととする。

附 則

この申合せは、令和 2 年 5 月 1 日から施行する。